

岡山 県立大
(総社市窪木)のデザイン学部3年生有志によるセラミックの造形作品やテキスタイルアートの展示会「&展」が、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん太ギャラリーで開かれていた。26日まで。造形デザイン学科11人が約50点を出品した。シルクスクリーン技法でクラゲの群れを描いたカーテンは、異なる青系の2色を用いて海の色調を表現。会場の床には地面から顔を出す10匹のモグラの置物が並び、それぞれ愛らしい表情やカラフルな模様があしらわれている。

発想の違い光る造形作

県立大デザイン学部生展示会
テキスタイルアートも



造形作品やテキスタイルアートが並ぶ展示会

他にも、植物の化石をモチーフにしたTシャツや小物入れ、動物の形をした花瓶などがずらり。中野生海さん(21)は「作者ごとの個性の違いや発想の豊かさを楽しんでほしい」と話している。

午前10時～午後5時(最終日は同4時まで)。会場では、染色したひもと陶製のビーズを使うストラップ作り体験(無料、各日先着5人)を随時受け付けるほか、26日午後2時から作品を解説するギャラリートークもある。(水野雅文)

山陽新聞社提供
掲載の記事・写真及び、図版の無断転記を禁じます。